



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 渡辺 三千也 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,618	△0.7	197	△9.1	161	△13.2	86	△31.1
25年3月期第3四半期	9,684	5.9	216	△1.0	185	1.7	124	365.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 88百万円 (△28.5%) 25年3月期第3四半期 123百万円 (395.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	13.75	ー
25年3月期第3四半期	19.95	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	7,519	1,700	22.6	271.67
25年3月期	7,223	1,624	22.5	259.54

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,700百万円 25年3月期 1,624百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	0.00	ー	2.00	2.00
26年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
26年3月期(予想)	ー	ー	ー	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	3.2	180	53.9	120	59.3	60	89.0	9.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	7,275,000株	25年3月期	7,275,000株
26年3月期3Q	1,016,811株	25年3月期	1,016,811株
26年3月期3Q	6,258,189株	25年3月期3Q	6,258,653株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・経済政策等を背景に円高・株安は解消され、企業業績は改善されつつあります。その一方で、個人消費の上昇に対する期待感はあるものの、雇用・所得環境が十分な改善に至っていないことに加え、消費増税など先行きに対する懸念により節約志向がまだまだ強く、不透明なまま推移しております。

レジャー業界におきましては、円安の影響を受けて一部の観光地で外国人観光客の増加もみられましたが、雇用情勢・所得環境の改善が道半ばであることに加え、原材料価格及びエネルギーコストの上昇などにより依然厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の下、当社グループでは、「改革へのチャレンジ」の年度スローガンに基づき、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,618百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は197百万円（前年同四半期比9.1%減）、経常利益は161百万円（前年同四半期比13.2%減）、四半期純利益は86百万円（前年同四半期比31.1%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

#### ①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めてまいりました。その結果、売上高は5,720百万円（前年同四半期比2.9%増）となり、営業利益は285百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

#### ②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、当社みやげ小売ブランド店として長野県小布施町に「きなり旬粋店」を平成25年4月にオープンし、みやげ小売の業容拡大を図ってまいりました。しかし、一昨年4月に新東名高速道路清水PA内にオープンしました「富士旬粋店」の売上が前年度の反動により減少し、その結果、売上高は1,558百万円（前年同四半期比1.9%減）となり、営業利益は14百万円（前年同四半期比74.2%減）となりました。

#### ③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を生かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めるとともに、従来有していた販売機能をみやげ卸部門に移管することにより効率的な生産活動に努めてまいりましたが、受注が振るわず営業利益は9百万円（前年同四半期比78.0%減）となりました。

#### ④温浴施設事業

温浴施設事業は、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーター客の増加に努めました。その結果、売上高は1,270百万円（前年同四半期比2.3%増）となり、営業損失は前年同四半期に比べ56百万円改善し、4百万円となりました。

#### ⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は83百万円（前年同四半期比3.1%増）となり、営業利益は28百万円（前年同四半期比19.1%増）となりました。

#### ⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりましたが、天候不順により需要の減少となりました。その結果、売上高は531百万円（前年同四半期比12.5%減）となり、営業利益は13百万円（前年同四半期比73.2%減）となりました。

#### ⑦その他

その他は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。その結果、売上高は453百万円（前年同四半期比1.1%増）となり、営業利益は37百万円（前年同四半期比50.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ453百万円(17.6%)増加いたしました。これは主に現金及び預金が94百万円、受取手形及び売掛金が127百万円、商品及び製品が205百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は4,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円(3.4%)減少いたしました。これは主に有形固定資産が113百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,519百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円(4.1%)増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円(3.9%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が271百万円増加したものの、短期借入金129百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,904百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円(4.1%)増加いたしました。これは主に社債が100百万円増加したものの、長期借入金30百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ220百万円(3.9%)増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,700百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円(4.7%)増加いたしました。これは主に四半期純利益86百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は22.6%(前連結会計年度末は22.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日開示の平成25年3月期決算発表時と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	917,465	1,012,203
受取手形及び売掛金	911,931	1,039,728
商品及び製品	577,882	783,578
原材料及び貯蔵品	76,312	81,752
その他	101,807	123,392
貸倒引当金	△4,379	△5,721
流動資産合計	2,581,019	3,034,934
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,397,432	1,330,639
土地	1,006,575	1,006,575
その他(純額)	392,120	345,102
有形固定資産合計	2,796,128	2,682,317
無形固定資産		
無形固定資産	149,515	127,927
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,037,609	1,033,843
その他	677,559	656,096
貸倒引当金	△18,677	△15,718
投資その他の資産合計	1,696,491	1,674,221
固定資産合計	4,642,135	4,484,467
資産合計	7,223,154	7,519,401
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	470,174	741,526
短期借入金	2,627,120	2,498,114
未払法人税等	33,534	67,270
賞与引当金	54,771	27,152
返品調整引当金	4,954	4,253
ポイント引当金	12,681	13,894
その他	565,411	562,215
流動負債合計	3,768,647	3,914,426
固定負債		
社債	100,000	200,000
長期借入金	1,249,336	1,219,095
役員退職慰労引当金	57,004	60,529
資産除去債務	321,430	328,935
その他	102,470	96,220
固定負債合計	1,830,241	1,904,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債合計	5,598,888	5,819,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	708,318
利益剰余金	101,361	187,394
自己株式	△199,825	△199,825
株主資本合計	1,622,370	1,695,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,895	4,305
その他の包括利益累計額合計	1,895	4,305
純資産合計	1,624,266	1,700,193
負債純資産合計	7,223,154	7,519,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,684,205	9,618,668
売上原価	7,227,573	7,176,060
売上総利益	2,456,631	2,442,608
販売費及び一般管理費	2,239,643	2,245,330
営業利益	216,988	197,277
営業外収益		
受取利息	6,107	6,140
受取配当金	495	716
受取事務手数料	7,617	6,992
その他	14,784	10,359
営業外収益合計	29,004	24,208
営業外費用		
支払利息	58,333	54,772
その他	1,678	5,207
営業外費用合計	60,012	59,980
経常利益	185,980	161,505
特別利益		
固定資産売却益	—	500
受取補償金	35,086	—
特別利益合計	35,086	500
特別損失		
固定資産除却損	149	1,231
特別損失合計	149	1,231
税金等調整前四半期純利益	220,917	160,774
法人税、住民税及び事業税	78,801	83,833
法人税等調整額	17,288	△9,092
法人税等合計	96,089	74,740
少数株主損益調整前四半期純利益	124,827	86,033
四半期純利益	124,827	86,033



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	124,827	86,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,044	2,410
その他の包括利益合計	△1,044	2,410
四半期包括利益	123,782	88,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,782	88,443
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への	5,556,718	1,589,546	158,884	1,241,374	81,273	608,137	9,235,935	448,269	9,684,205	—	9,684,205
売上高											
セグメント間											
の内部売上高	191,864	—	342,546	—	18,000	—	552,411	328,517	880,929	△880,929	—
又は振替高											
計	5,748,582	1,589,546	501,431	1,241,374	99,273	608,137	9,788,346	776,787	10,565,134	△880,929	9,684,205
セグメント											
利益又は	248,257	56,275	42,076	△61,826	24,267	48,723	357,774	25,243	383,017	△166,029	216,988
損失(△)											

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への	5,720,410	1,558,944	—	1,270,507	83,764	531,860	9,165,488	453,180	9,618,668	—	9,618,668
売上高											
セグメント間											
の内部売上高	187,389	—	398,804	—	18,000	—	604,193	327,904	932,098	△932,098	—
又は振替高											
計	5,907,800	1,558,944	398,804	1,270,507	101,764	531,860	9,769,681	781,085	10,550,767	△932,098	9,618,668
セグメント											
利益又は	285,909	14,504	9,276	△4,853	28,894	13,043	346,774	37,913	384,688	△187,410	197,277
損失(△)											

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。